

食と農から考える、今とこれからの「経世済民」

今回お招きする平賀さんも所属される「AM ネット」の会報（第 95 号）に、「工業的畜産」という表現があります。ブタやニワトリ、ウシ等が自然でなく製品のように「育て作られる」悲しき状況が目に見えます。その処理施設では、新型コロナウイルス（COVID19）が蔓延したケースもあり、働く人の労働環境も良くないのです…何より人と環境と地域社会を健康・健全にすることを、食・農へのまなざしから、解決への手立てをとともに見つけ動いていければと思います。それはまた、次の世代への負の遺産を減らすことにもつながるでしょう。

話題提供者：平賀 緑さん

現在：立命館大学（専門研究員）、京都橘大学（非常勤講師）。広島県出身。国際基督教大学卒業後、香港中文大学へ留学。香港と日本において新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、1997 年からは手づくり企画「ジャーニー・トゥ・フォーエバー」共同代表として、食料・環境・開発問題に取り組む市民活動を企画運営した。2011 年に大学院へ移り、ロンドン市立大学修士（食料栄養政策）、京都大学博士（経済学）を取得。植物油を中心に食料システムを政治経済学的アプローチから研究している。

著書に『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』2019 年、昭和堂）



日時：9 月 13 日（日）14 時～17 時頃

場所：ニカラグアの会等事務所（名古屋市東区中村区那古野 1-44-17 嶋田ビル 302 号）

（* 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、会場の変更もあります。）

参加費：500 円（お申し込み不要です）

当日の連絡先：ニカラグアの会（052-581-3772）

または 080-6908-3226（伊藤）

主催：よこのつながり勉強会＋へっちゃんらネット

後援：ニカラグアの会